

シンポジウム

持続可能性とポスト2015年開発アジェンダの
統合を目指して

ジェフリー・サックス教授、基調講演



2015年をもって、ミレニアム開発目標 (MDGs) が期限を迎えるにあたり、ポスト2015年開発アジェンダ (ポストMDGs) や持続可能な開発目標 (SDGs) をめぐる国際的な政策議論が高まっています。このため、より一層の国際協力への理解促進を進め、持続可能性とポスト2015年開発アジェンダの統合を目指した幅広い分野からの意見交換が必要とされています。

このシンポジウムでは、コロンビア大学地球研究所所長のジェフリー・サックス教授による基調講演、有識者によるパネル・ディスカッション、会場全体によるインタラクティブ・セッションが行われ、ポストMDGsに向けて、総合的に議論を深めることを目指します。

基調講演

ジェフリー・サックス コロンビア大学地球研究所

パネリスト

遠藤貢 東京大学大学院総合文化研究科

谷津龍太郎 環境省

スレンドラ・シュレスタ 国連環境計画国際環境技術センター

蟹江憲史 東京工業大学大学院社会理工学研究科、
国連大学サステイナビリティ高等研究所

2014年10月2日 (木)

14:00-16:40

場所

国連大学
ウ・タント国際会議場

主催

国連大学サステイナビリティ高等研究所

特定非営利活動法人

ミレニアム・プロミス・ジャパン (MPJ)

後援

独立行政法人国際協力機構 (JICA)

60 years
Japan's Official Development Assistance